

千島喜久男教授 生誕 113年祭

千島学説研究会・大阪セミナー

————— 自衛策としての千島学説 —————

“真実を見極めてどう対処するか”

「生命の本質を取り戻すために今、我々の出来ることから始めよう」

日時： 2012年10月27日(土) 午後12時～午後8時
(会員総会：午後12:30時～午後13時)
2012年10月28日(日) 午前10時～午後5時

場所： 茨木福祉文化会館 302号室(親睦会・・・同室)
茨木市駅前 4-7-55(電話・・・072-625-5421)

主催： 千島学説研究会
学頭 酒向猛 副学頭 小松健治・大杉幸毅
実行委員長 増本勝久 副委員長 高橋秀明

会費： 1) 両日とも参加 会員 4,000円 非会員 5,000円
2) 1日のみ参加 会員 2,500円 非会員 3,000円
3) 親睦会参加は別に 2,000円 (会員・非会員共)

* 参加申し込みはすべて予約制です。必ず同封の郵便振替用紙にて事前にお申し込み下さい。(申し込み多数の場合は会員を優先させていただきます。予約なく当日参加された場合、満席の時は入場をお断りすることもありますので、必ず事前確認をお願いします。)

(参加申し込み先 : 072-643-8579 研究会事務局 電話・FAX)

* 尚、郵便振替用紙がなくて電話・ファックスのみでお申し込みの場合は参加費を当日受付にてお支払い願います。

第1日目 10月27日(土)午後12時~午後8時

千島学説大阪セミナー

茨木福祉文化会館・302号室——総合司会小松伸子・ト部幸子

*受付開始 午後12時より

*会員全国総会 午後12時:30分~13時:00

第1部・セレモニー	13:00~13:45
総合司会挨拶	小松伸子
全員合唱 『ふるさと』	(まだ美少女合唱団)
開会の辞	増本勝久 (大会実行委員長)
代表挨拶	仁志天映 (研究会・代表理事)
基調講演 「自分が自分の主治医」	大杉幸毅 (血液循環療法会長)
第2部・巻頭講演	13:45~14:45
「医療現場では一体何が起きているのか」	酒向 猛 (病院医師)
—————休憩 14:45~15:00—————	
第3部 特別講演	15:00~16:15
「病気になるないライフスタイルのキーポイント — とくに食の現代的課題」	西川栄郎 (オルター代表)
第4部 研究発表・活動報告	16:15~16:45
「古くて新しい伝承療法」	阿部一理(民間療法研究家)
会員による研究発表など 3名・各20分予定 (発表予定: 田中・新野他)	16:45~17:45
—————親睦会準備休憩 17:45~18:00—————	
第5部・親睦会	18:00~19:45
司会・進行	鈴木 一策 (大学講師)
献杯挨拶	丸本 執正 (伯方の塩会長)
閉会の辞	小松 健治 (あうん健康庵)

2日目 10月28日(日)午前10時～午後5時

第1部・セレモニー	10:00～12:00
総合司会挨拶	ト部 幸子
全員合唱 『赤とんぼ』	(まだまだ美少女合唱団)
開会の辞	小島 秀樹
基調講演 「水と珪素が育てる場の触媒力」	中島 敏樹 (元東洋化学顧問)

「集団の動的な場の力」とは水と珪素の集団が織りなす「電磁場」の「触媒能」作用である。70%以上が水で構成されている人体も一つの電磁場といえる。生命「いのち」にかかわる水と珪素の関係からひとの想念「気」の作用まで生命科学の一端をひも解く。

—————昼食休憩 12:00～13:00—————

第2部・特別講演	13:00～14:30
「生命を生み出す螺旋運動とは」	いよの いし (サロンドジャン)
神の粒子“ヒッグス粒子”の発見から生命を生み出す螺旋運動のメカニズムを探り、「珪・酸・水」の正四面体の回転により物質の誕生から生命発生の謎を解き明かす。	

—————休憩 14:30～14:45—————

第3部・シンポジウム	14:45～15:45
テーマ 「生命力を活性化させる集合場の理論とは？」	
質問形式のパネルディスカッション	
パネラー : 中島敏樹、いよのいし、増本勝久、高橋秀明	

第4部・会員活動報告及び質疑応	15:45～16:55
会員活動報告 「木村秋則式自然栽培と千島学説」	藤井 康三
その他 報告希望者あれば1～2名	
質疑応答・セミナー参加者との対話	
質問・疑問に答える	司会進行 仁志 天映

第5部・フィナーレ	16:55～17:00
閉会の辞	大杉幸毅
一本締め	増本勝久

*プログラムは、一部変更される場合があります。